

2016 年 11 月 4 日

ティントリジャパン合同会社

ティントリジャパン、クラウドファースト時代に向けた機能を大幅に強化
堅牢なデータ保護機能、分析および予測クラウドサービスを提供

～ リアルタイムデータ複製によるゼロ RPO の実現、複数サイトへのデータ複製による
災害対策の強化、仮想マシンやアプリケーションの洞察と将来予測を提供～

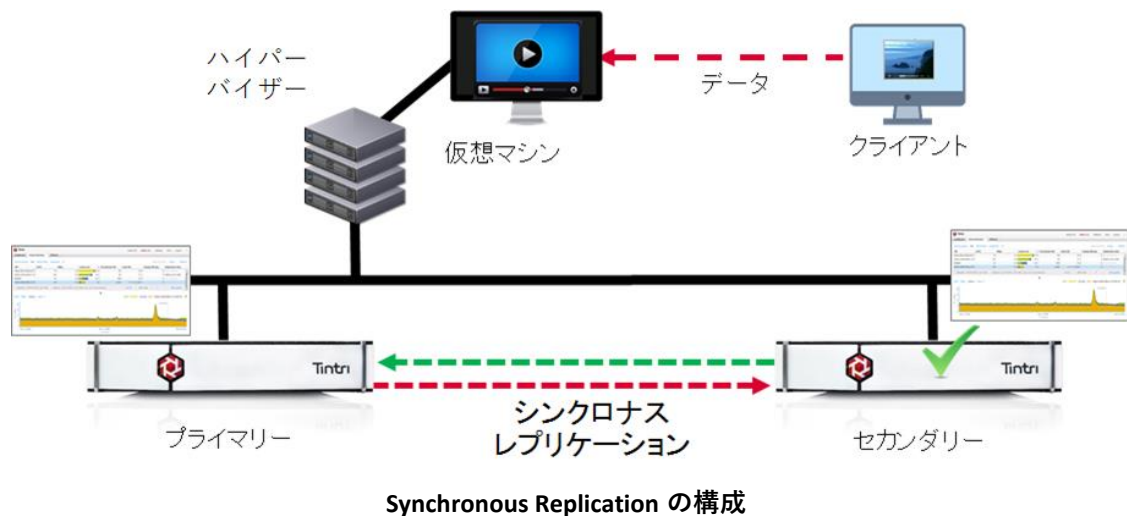
仮想化ならびにクラウド環境のフラッシュストレージを提供するティントリジャパン合同会社（本社：東京都千代田区、職務執行者社長：河野 通明、略称：ティントリジャパン）は、クラウドファースト時代に向けて、仮想化専用フラッシュストレージ「Tintri VMstore（ティントリ ヴイเอ็มストア）」に堅牢なデータ保護機能を追加し、分析および予測クラウドサービスを提供することを発表しました。

企業が自社の情報システムを新規に構築する際、クラウドサービスの導入を前提とするクラウドファーストの理念が定着しつつある中、クラウドサービスを提供する企業はクラウド基盤の堅牢化と将来を見据えたシステムの計画的な導入が不可欠となっています。しかしながらこれまでのクラウド基盤では、安価かつオープンなハードウェアとソフトウェアで、柔軟に拡張できる低コストのシステムが中心となっています。そして SDS（ソフトウェア ディファインド ストレージ）などのオープンなハードウェアとソフトウェアで構成される大規模なクラウドサービスでは、しばしばサービスの停止、データの消失、情報漏洩などの課題があることも事実です。そのような環境下において、クラウドサービス企業は、より堅牢にデータを守り、サービスが停止しないシステムに移行していくことが急務となっています。また、ユーザーが利用しているアプリケーションが今後どのように拡張していくのか、それに伴ってサービス基盤をいつ増強すれば良いのかを正確に予測することが重要となります。

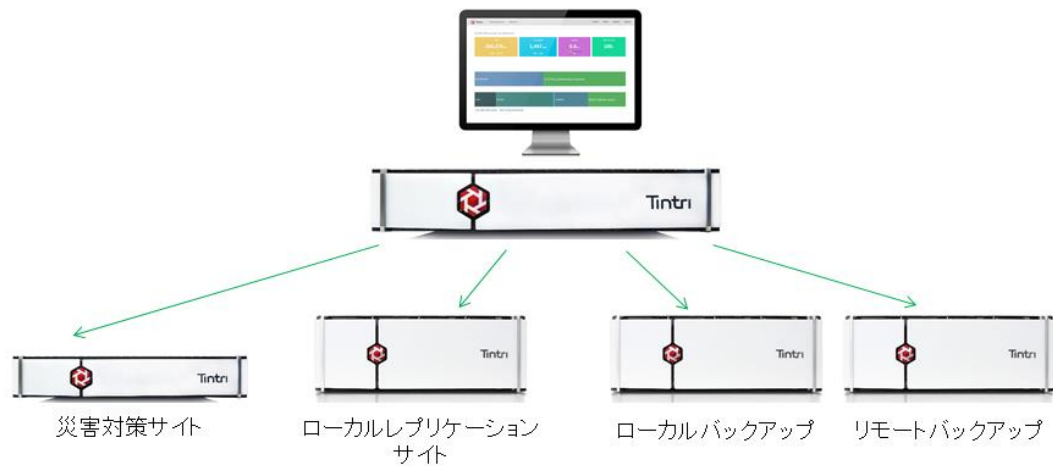
ティントリは、クラウドファースト時代に求められる重要な課題に応えるべく、このたび「Tintri VMstore」フラッシュストレージにリアルタイムデータ複製、複数サイトへのデータ複製による災害対策の強化、ならびに仮想マシンやアプリケーションの分析および予測を行うクラウドサービスを提供いたします。

今回発表した機能は次のとおりです。

- 「**Synchronous Replication**」 (シンクロナス レプリケーション) - リアルタイムデータ複製による**ゼロ RPO(*1)の実現**
 - 間隔を置くことなく継続してデータを別筐体に複製することで、データを一切失うことなくサービスを継続できます。
 - 筐体間のフェイルオーバーは透過的に行われるため、システムのダウンは発生しません。
 - 複製用の Tintri VMstore を設置するのみ、ソフトウェアもこれまでの Tintri ReplicateVM のみで簡単に構成できます。

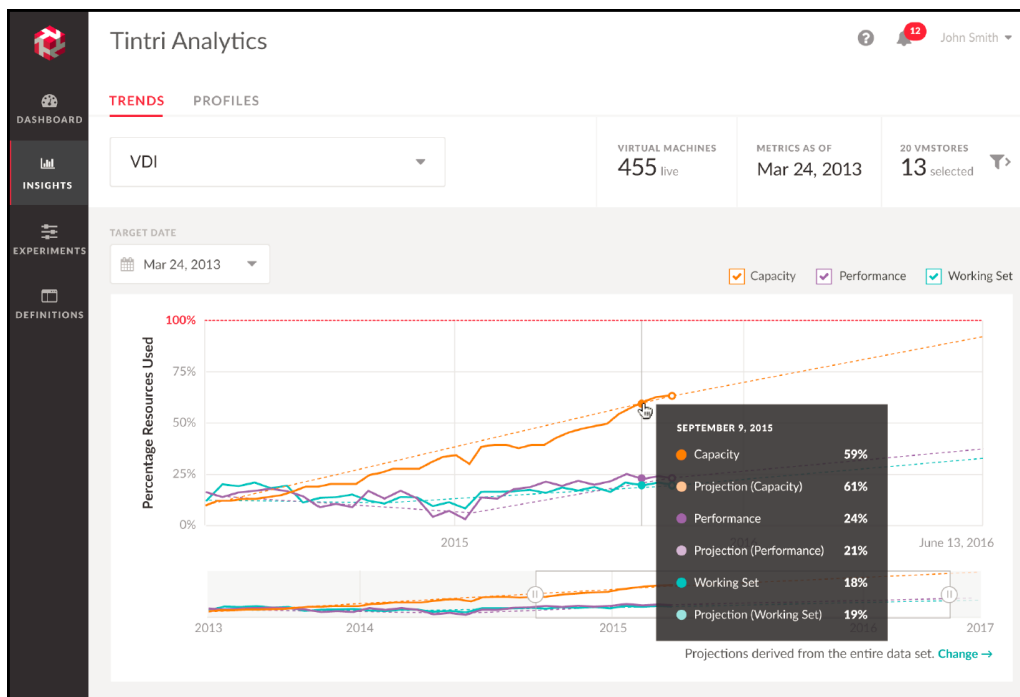


- 「**1-to-many Replication**」 (ワントゥメニー レプリケーション) - 複数サイトへのデータ複製による**災害対策の強化**
 - 仮想マシン単位、もしくはサービス グループ単位で複製が可能です。
 - ローカルバックアップのみならず、リモートバックアップも同時に行うことができます。
 - 最大 4 地点に同時にデータの複製が可能で、大規模の災害にも耐える設計を組むことができます。例えば、東京から大阪と福岡にデータ複製を行うことで、広い範囲での災害があったとしても復旧が可能となります。



1-to-many Replication の構成例

- 「ティントリアナリティクス」 – 仮想マシン、アプリケーション単位での洞察と将来的な予測をクラウドベースのサービス基盤で提供
 - 全世界で稼働する約 2,000 台の「Tintri VMstore」から 6 年に渡り蓄積した膨大なビッグデータの解析データをユーザーに開放することで、各筐体で稼働する仮想マシンやアプリケーションの洞察と将来予測を的確に行うサービスを提供します。
 - 過去 3 年間の実データを集約し、最長で将来 18 ヶ月の傾向を予測し、ストレージ容量の追加時期を把握することで、IT 投資計画が立てやすくなります。
 - アプリケーションごとの将来的な成長トレンドを、容量、性能、ワーキングセットの観点でシミュレートします。



ティントリアナリティクスでの将来予測

価格について

- 「Synchronous Replication」ならびに「1-to-many Replication」はこれまでの「Tintri ReplicateVM」(ティントリ レプリケートヴィエム) のライセンスでご利用いただけます。なおご利用いただくには Tintri OS 4.3 ならびに Tintri Global Center 3.5 スタンダードライセンス (標準装備) が必要です。
- 「ティントリ アナリティクス」は Auto Support (*2)が有効化されている Tintri VMstore をご利用のお客様にクラウドサービスとして提供されます。なお、ご利用は無償となります。

「Tintri VMstore」製品写真 (下記よりダウンロード可能です)

T800 正面写真: <http://tintri.co.jp/file/t800png-0>

T5000 正面写真: <http://tintri.co.jp/file/t5000png-0>

参考情報

「Synchronous Replication」 「1-to-many Replication」 関連情報: <http://tintri.co.jp/replicatvm>

「ティントリ アナリティクス」 関連情報: <http://tintri.co.jp/tintri-analytics>

(*1) RPO: Recovery Point Objectives の略であり、過去のどの時点までのデータを保証して復旧させることができるかの目標値。

(*2) Auto Support: Tintri VMstore の稼働状態、運用状況を定期的に収集することによる蓄積データの解析および将来予測、障害時に必要な情報取得を自動的に行うことにより迅速なテクニカルサポートの提供を行う仕組み。

ティントリジャパン合同会社について

ティントリジャパンは、米国ティントリ社の日本法人として、2012年に設立されました。米国ティントリ社は、仮想化環境を監視、把握、適応できるフラッシュストレージを提供するストレージ・ベンダー企業です。同社のフラッシュストレージを導入することで、IT部門のストレージ管理負担を劇的に軽減し、仮想化されたアプリケーションでのサービスに集中できるようになります。

アプリケーションに最適化されたティントリ フラッシュストレージは、仮想マシン単位での可視化、制御、洞察、即時適応を提供し、ストレージの複雑な設計やトラブルシューティングから解放されます。ティントリ フラッシュストレージは、ビジネスクリティカルデータベース、エンター

プライズ アプリケーション、デスクトップやモバイル アプリケーション、プライベート クラウド
といった数百から数千台の仮想マシンを快適に稼働させることができます。

ティントリ製品は、AMD、F5 ネットワークス、GE、NTT、ミラークアーズ、タイムワーナーなどの
グローバル企業での仮想化やプライベートクラウド環境で利用されています。ティントリの製品や
サービスに関する情報については、以下の Web サイトをご参照ください。

<http://tintri.co.jp>

ティントリジャパンの Facebook は以下の URL をご参照ください。

<https://www.facebook.com/TintriJapan>

【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：ティントリジャパン合同会社

担当者名：マーケティング本部 広報担当 平畑有梨

TEL：03-6213-5403

Email: pr.japan@tintri.com